



THE Y'S MEN'S CLUB OF

NARA

奈良ワイズメンズクラブ

CHARTERD SEP. 14th 1950

C/O NARA YMCA, 2 Saidaji Kunimicho, NARA JAPAN

Phone No. 0742-44-2207 URL: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

9月号

国際会長主題：『Go Ye All The World (全ての世界に出て行こう)』 国際会長 Poul V. Thomsen

アジア会長主題：『Start Future Now (未来を始めよう、今すぐに)』 アジア会長 岡野 泰和

西日本区主題：『Attend club meeting with a clear motive to make the most of them

(志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましょう。)』 西日本区理事 高瀬 稔彦

阪和部主題：『Youth & Action (若さと行動 今こそ行動するとき)』 阪和部長 飯沼 眞

クラブ会長標語：『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』 奈良クラブ会長 高橋 辰夫

9月例会(メネット例会)

とき 2013年9月09日(月) 19:00~21:00

[月間テーマ]

ところ ピカピカ

Menettes

プログラム

[今月の聖句]

司会: 杉浦 文子

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」

1. 奈良クラブの歌
2. 開会点鐘
3. メネットソング
4. 聖書・祈祷
5. ゲスト・ビジター紹介
6. 誕生日・結婚祝い
7. 食前感謝・晩餐
8. 卓話 「福祉をかえるアート活動の可能性」

ヨハネによる福音書15章5節

日本基督教団奈良教会牧師 栗原宏介

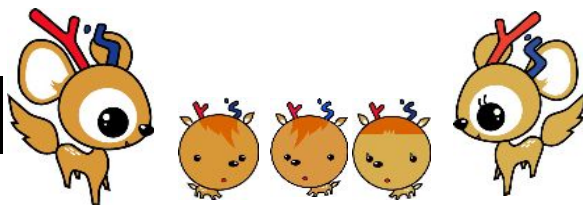
学生の時に説教の先生から一冊の本を紹介されました。その本はその時以来私の座右の書となっています。「モリー先生との火曜日」(ミッチ・アルボム著、日本放送出版協会)という本です。スポーツコラムニストであるミッチ・アルボムが筋萎縮性側索硬化症に侵された恩師モリーと毎週火曜日に行われた「授業」の記録です。テーマは「人生の意味」について。その中で特に私の心に強く残っている言葉があります。「Death ends a life, not a relationship. (死で肉体は終わる、つながりは終わらない。)」死の間際にあるモリー先生の言葉が重く響きました。「死」は逃れられない出来事です。しかしそれがすべての終わりのときではなく、私たちが得たつながりは変わらないのです。キリスト教で言うところの「永遠の命」もまさにこういう事なのかなと思います。今年の夏は私にとって多くの出会いと悲しい別れを経験した時となりました。この夏、特にこの「つながり」に思いを向けてそこに希望をみた次第です。

森下静香様(財団法人たんぼぼの家 常務理事)

9. インフォメーション
10. YMCAの歌
11. 閉会点鐘
12. 閉会

2013年8月クラブ統計

在籍会員	24 名	・	出席率算出人数	23 名
メン	16 名	・	メネット	7 名
		・	功労会員	1 名
ゲスト	3 名	・	ビジター	7 名
		/	出席率	69.6%



ニコニコ献金

8月度 740 円・累計 930,060 円

会長 高橋 辰夫

昨日、2020年のオリンピックを日本に招致出来た事をテレビで発表されていた。老いも若きも男も女もみんな一緒になって抱き合っただけで喜んでいた。これほどの一体感はそうそうあるものではないです。みんなが何かに取り組んでひとつの事を成し遂げる達成感！これは人の心をここまで動かすものかと思いました。

私達ワイズメンズクラブも一体感でつながり、喜びを分かち合える様になれば素晴らしいと思います。私が示唆するワイズダム原点回帰の想いもここにつながる所はあります。

これから私達も達成感をみんなで分かち合えるような活動を続けて行きたいと思います。被災地もともに。。



8月例会報告

佐々木

みどり

猛暑の続く奈良の夕べ、若草山山上に近い「三笠」で、納涼例会が開かれました。遠方の名古屋東海クラブより山村メン、杉山メン、鈴木メン、橋爪メン、八木メン、大阪サウスクラブより鈴木メン、なかのしまクラブより今井ウイメン、林佑幸メンの孫メット岩崎優奈ちゃん(4歳)、ピジタとして藤原庸貴様、松本尚様、宮平敬生様を、お迎えし、「暑気払いと明日への活力にして下さい」との会長の挨拶で例会が始まりました。豪華な食事が並び杉浦メンの乾杯の音頭。

冷たいビールが万座をめぐるしました。枝川ウイメンによる、エア-文字あてクイズ、鈴木メン(大阪サウスクラブ)によるマジックの余興。続いて山本メン、前田メン、中井メンの司会でオ-クッションがありました。オ-クッションの売り上げ50,740円、全額東日本大震災支援活動支援に寄付されます。終始笑いが絶えず、ワイズメンズクラブの絆が一段と強くなりました。一同あらためて若草山山上より見た夜景に、一時暑さを忘れたのでした。この活力で、残暑を乗り越えていきたいものです。

「子供たちに誇れる未来を」

西口 須現恵メ

ネット

先日ある若い青年社長のお話を聞く機会がありました。その社長を少し紹介しますと、大学を中退され、世界中回られている間にお父さんが亡くなられて、突然会社を継ぐことになりました。いざ会社の内情を開くと赤字で大変な状況だったそうです。そこで会社の中の改革から始められ、知恵をしばり二年で借金を全額返済されたそうです。そして今も新しい夢に向けて頑張っておられます。彼の話聞いていて、本当に世界に誇れる仕事があったらいい、そのあつき思いはどこからきたのでしょうか。それは彼が世界を回っていた時、ある少年が僕は日本に行きたくないと、何故と問うと、川にかかっている大きな橋を指を指して「あの橋は日本人が掛けてくれたから。」と言われ事から、世界に誇れる企業になりたいと思われ、今も熱く語られて多くの青年たちや先輩に勇気を与え続けてらっしゃいます。さて、それでは私たちは何を始めればよいのでしょうか...Y MCAの担う課題も大きいですが、私も出来ることから、始めて見ます。

東日本大震災支援活動in仙台

高橋 辰

夫

8月31日～9月01日の2日間と短い間ですが、東日本大震災の支援活動として、宮城県に行き参りました。被災地の現状を知るために、各所に視察に赴き、二日目にはイチゴ農園のお手伝いをして参りました。第一次復興(災害救援)、第二次復興(生活復興)を経て、現在は第三次復興(心の復興)が重要な時点だと放されました。仙台YMCAの村井総主事がお話しされた、「頑張って下さいねという言葉よりも、大変だったね～良く頑張っているね～。私達も応援しているからね～という励ましが一番の心の支えに頑張れた」という言葉が心に残りました。この現状を風化





YMCAサービス・ユース

・東日本大震災支援事業

8月30日～9月2日 仙台YMCA および被災地各

・YMCA会員活動へのサポート

交流

・DBC交流 御殿場クラブ、名古屋東海クラブ

・IBC交流 韓国慶州花郎クラブ、台湾台南クラブ

ファンド

・BF切手蒐集 一人1,400円分の切手

・クラブファンドの検討

・ファンドの啓蒙活動

EMC

・会員増強のための広報活動 ・第2例会の促進

・オリエンテーションの充実

[阪和部EMCシンポジウム 9月23日 大阪南YMCA](#)

地域奉仕

・CS献金 一人1,500円 ・TOF献金 一人1,200円

・FF献金 家族800円 ・東日本震災支援献金 一人1,200円

・ロールマックマラリ献金 一人800円 ・CS事業

メネット事業

・7月23日滋賀県近江八幡市にあるボーダレスアー  
ミュージアムNO-MA障がい者による美術作品の展  
目的とする美術館へ行ってきました。

・8月12日養護老人ホーム『奈良苑』へ喫茶のボラン  
ティアに行ってきました。

## 役員会報告

日時： 2013年6月17日18:30～19:00

場所： YMCAチャペル

### 議題

#### 1、10月例会について

日時： 2013年10月14日 19:00～21:00

場所： ピカピカ

#### 2、9月14阪和部会

紀泉わいわい村にて

#### 3. 阪和部EMCシンポジウム

日時： 2013年09月23日 13:00～

場所： 大阪南YMCA

#### 4. 8月納涼例会のオークション売上金について

50740円の売上金の内、50,000円を東日本大震被災地イチゴ農園の井戸掘削基金として寄付。残り: 740円はニコニコへ。

#### 5. 阪和部新年合同例会および奈良クラブ新年例会

実行委員長 胎中メン

### 9月の行事予定

日 / 曜日	行事内容
9 月	奈良クラブ例会
24 月	奈良クラブ役員会

### Happy Birthday

3日 松田 重子、3日 金子 司、6日 西口 須現恵

### Wedding Anniversary

15日 三枝 隆・ひろみ

Bulletin 4

## YMCAだより

三枝 隆

『アジアユースコンボケーション』INフィリピンと【東日本震災支援活動】の報告会を10月例会にていたします。

第1回東日本震災支援活動(2011.8/29～9/1)の写真に掲載します。



### 次月例会予告

とき 2013年10月14日(月・祝) 19:00～21  
 ところ ピカピカ  
 内容 10月例会  
 報告者 ユース及びワイズメン参加者  
 タイトル 「ユースコンボケーション報告」  
 「東日本大震災支援事業報告」